

日本共産党 後援会

**南区西浦和地域
日本共産党後援会**

お困りごとは、お気軽に
「金子あきよ事務所・生活
相談所」までご相談下さい

TEL 048(881)2487
FAX 048(881)2497

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

武蔵浦和駅周辺のまちづくり ～市西部まちづくり事務所と懇談～



8月16日、住みよいまちづくり連絡会、南区西・住みよいまちづくりつくり会は、金子あきよ市議、守谷千津子前市議と、さいたま市西部事務所長らと、武蔵浦和駅周辺のまちづくりについて懇談しました。

懇談では、浦和大里小、沼影小、内谷中の小・中一貫校への再編問題、沼影市民プール廃止問題、南消防署の老朽化・狭隘問題など多岐にわたりました。

「沼影市民プールを残して」「一貫校でなくそれぞれの学校で大規模校の解消を」の住民運動が大切です。

また、市は、武蔵浦和駅改札口の増設問題も「新しい切り口を模索している」と述べました。

「コロナ下の首相、菅氏に任せて大丈夫か」 野党が求める臨時国会を直ちに開き 政府と与野党が手を携えて コロナ対策に知恵をしぼれ!

新型コロナウイルスの感染爆発と医療ひっ迫はとどまるところを知りません。医療崩壊による自宅療養中にコロナ禍で亡くなる痛ましい出来事が続いております、もはや菅政権による「人災」とも言える事態です。

誤算続きの菅政権は、野党が強く要求している臨時国会開催に背を向け、閉会中審査も担当大臣任せで、うつろな表情で「安心・安全」を繰り返すのみです。そして「国民の命を守る」任務を軽視し、

もっぱら、自分の総裁選再出馬、総選挙の党利・党略を優先する姿勢が見え見えず。

とうとう朝日新聞は社説で「コロナ禍の首相 菅氏に任せて大丈夫か(8・11)」と菅首相見切り宣言、さらに「緊急事態拡大 国会開き 覚悟を示せ(同18)」と主張しています。私たちは、臨時国会を直ちに開き、コロナ禍について、与野党、専門家が一体となり対処することを求めます。

横浜市長に野党共同候補 山中さん圧勝 市民と野党の 共闘前進に大きな弾み

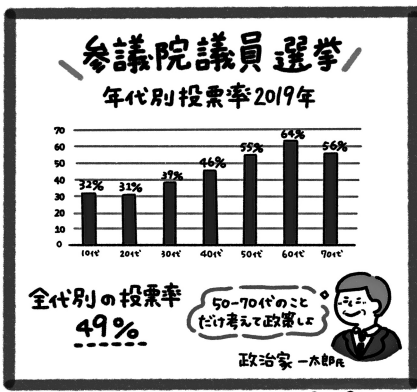
8月22日に投票された横浜市長選で、市民と野党の共同候補で元横浜市大医学部教授の山中竹春さん(48)＝立憲民主推薦、共産党、社民党、緑の党、新社会党支援＝が、横浜市を地盤とする菅首相をはじめ自民・公明党が全力で支援した小此木八郎前国家公安委員長ら現職・新人7人を破り初当選。カジノ反対の民意が明白になるとともにコロナ

禍に対する菅政権の無為無策ぶりに市民がノーを突きつけたものと言えます。総選挙に向けた市民と野党の共闘前進に大きな弾みをつけました。



「パンケーキを毒見する」菅首相の素顔に迫る映画が話題を読んでいます。一般の映画館で上映されています。

選挙に行こう！ Let's go to the election 若者世代の「1票」を政治に



頂門

世論を無視して強行されたオリンピック、その結果はどうだったでしょうか、朝日新聞の調査によりますと安全・安心の大会が「できた」とする人は32%に過ぎず、「できなかった」とする人が54%と過半数を制しました。コロナ対策の拙劣さを反映しています▼今回のオリンピックは巨額の予算を投入し、コロナ禍を軽視して強行された大会です。この結果は当然でしょう。この結果は来るべき衆院選で出したいものです▼

「蝉しぐれ六日九日十五日」秋葉病院元院長の句です。ヒロシマ、ナカサキ、そして敗戦を詠んだ句です。感情を押さえた客観的な表現であるだけにかえって平和の大切さを痛感させられます▼カネがからむ政治の腐敗は自民党だけではありません。政権の一角である公明党も同じです。日本政策金融公庫の融資に絡んで前・現衆院議員が無登録にもかかわらず仲介したとして、議員2人の秘書が東京地検の捜索を受けました。これでは政治不信はつるばかりであり、真相解明が必要です。

(T・I)